

令和 4 年東北地方一級河川の水質現況の訂正とお詫びについて

令和 5 年 7 月 6 日付け記者発表させて頂きました「令和 4 年東北地方一級河川の水質現況」について、生活環境の保全に関する環境基準の満足状況に誤りがありましたので、別紙のとおり訂正させて頂きました。

関係者及び報道機関の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 令和 5 年 7 月 6 日付け記者発表の訂正の内容

1) 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

- ・ 全ての調査地点で環境基準を満足した水系 (誤) 7 水系 → (正) 8 水系
- ・ 令和 4 年満足率 (誤) 岩木川 94% → (正) 岩木川 82%
(誤) 最上川 95% → (正) 最上川 100%

2) 訂正後の記者発表は、別紙をご覧ください。

2. 本資料は東北地方整備局ホームページ上で公表しています。

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/plaza/jiko/suisitu_top/index_suisitu_top.html

<発表記者会> 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、宮城県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]

国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課

課長 ^{おおだいら} 大平 ^{ともひで} 知秀 (内線 3651)

課長補佐 ^{まくち} 菊地 ^{じゅん} 純 (内線 3656)

仙台市青葉区本町 3 - 3 - 1 仙台合同庁舎 B 棟

TEL 022-225-2171 (代) FAX 022-215-3754

東北では阿武隈川水系荒川が「水質が最も良好な河川」となりました！**令和4年東北地方一級河川の水質現況を発表**

令和4年(1~12月)の東北地方一級河川12水系における水質調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

阿武隈川水系荒川が13年連続で「水質が最も良好な河川」となりました。

- 「生活環境の保全に関する環境基準」のうち、水質汚濁の代表的な指標であるBODまたはCODの満足状況は、12水系中 **8水系**が「100%」の調査地点で満足する結果。
- 「人の健康の保護に関する環境基準」の満足状況は、2地点で基準値を超過(自然由来と推測)
- 住民参加による水質調査も実施。「今後の河川水質管理指標による調査」「水生生物による簡易水質調査」の両調査で、合わせて「224人、9団体」に参加していただき調査を実施。
- ダイオキシン類実態調査は全ての地点で基準値を満足。
- 水質事故は147件発生。原因は油流出が約9割。家庭で灯油タンクから小分け中にその場を離れるなどの不注意によるものが多い。
- **Colum** 北上川上流における水環境保全の取り組み

※本資料は東北地方整備局ホームページ内(記者発表)で掲載しています。

<https://www.thr.mlit.go.jp/>

※国土交通本省ホームページ内で以下のとおり掲載しています。

「全国版の水質現況」及び「各地点調査結果を含む詳細版」

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/r4_suisitu.html

<発表記者会> 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]

国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課

課長 おおたいら 大平 ともひで 知秀 (内線 3651)

課長補佐 まくち 菊地 じゅん 純 (内線 3656)

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟

TEL 022-225-2171 (代) FAX 022-215-3754

2. 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

赤枠：訂正箇所

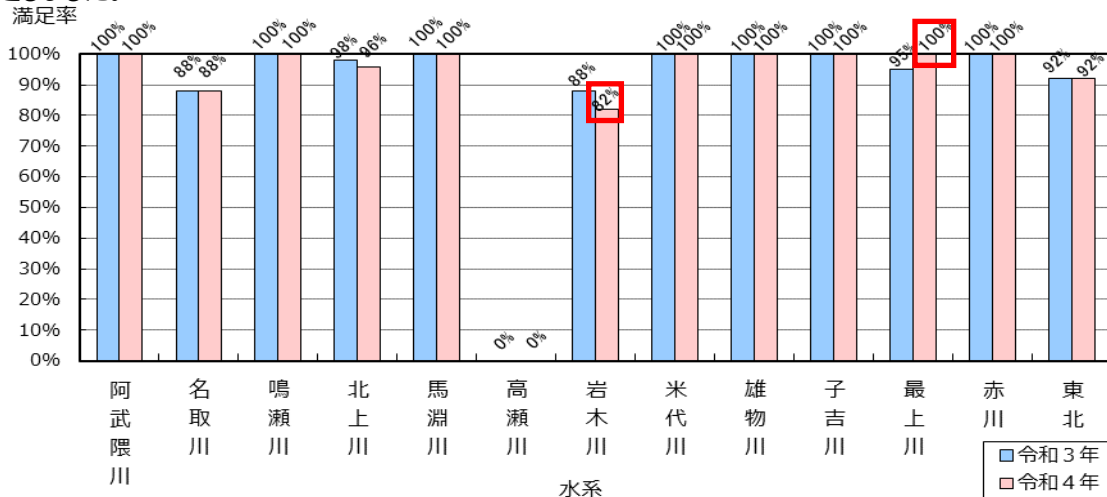
令和4年水質調査結果

生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD値又はCOD値（水質有機汚濁の代表的な指標）が全ての調査地点で環境基準を満足した水系は、12水系中8水系となりました。

生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準（環境基準）として定められている項目について水質調査を実施しています。

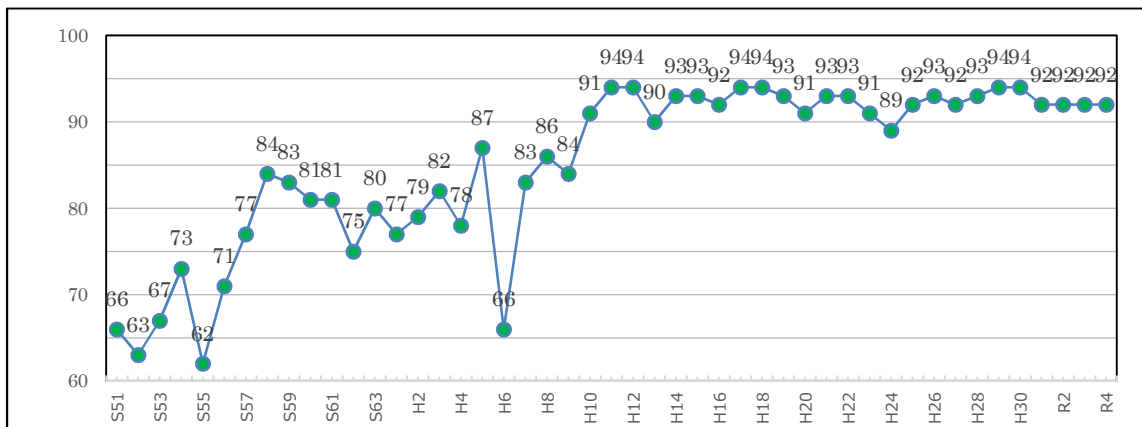
生活環境の保全に関する環境基準項目	
pH（水素イオン濃度）	n-ヘキサン抽出物質
BOD（生物化学的酸素要求量）	総窒素
COD（化学的酸素要求量）	総リン
SS（浮遊物質）	全亜鉛
DO（溶存酸素量）	ノニルフェノール
大腸菌群数	LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）
	低層DO（溶存酸素量）

○令和4年は12水系中8水系において全ての調査地点でBOD値又はCOD値が環境基準を満足しました。



※高瀬川は、湖沼での調査地点が多く、全国的にも湖沼等（海域を含む）の満足率は42%と低い数値となっている。

○東北地方整備局管内の全調査地点におけるBOD値又はCOD値の経年的な満足状況は、令和4年は92%であり、高い割合で維持しています。



※「環境基準」は、川の一定の区間及びダム・湖沼で、望ましい水質の目標を定めた値で、川の一定区間毎に類型が指定されており、その類型毎に基準値が定められている。一般に河川ではBOD75%値、ダム・湖沼ではCOD75%値で判断します。